

はたらき人

沖縄信徒聖書学校
沖縄聖書神学校

沖縄県那覇市久米町
2の11 (〒900)
事務局
聖書学校
☎ 09893(7)8988
神学校
☎ 0988(84)4391

ただ、心の中でキリストを主とあがめなさい。また、あなたがたのうちにある望みについて説明を求めらる人には、いつでも弁明の用意をしておきなさい。しかし、やさしく、慎み深く、明らかな良心をもって、弁明しなさい。

ベテロ第一の手紙三・15、16

沖縄信徒聖書学校では、今年四月に第十三回目の入学式を行い、十六名の新入生を迎えました。二年生とあわせると三十余名の生徒が学びを共にすることになります。新入生のみならず共に、私も、一年生校長に就任致しました。もともとそのような器ではございませんので、こんなことになるとは思っておりませんでした。これからの二年間の大任を思って緊張して居ります。

生徒の皆さんが二年間の学びを全うされます様に祈ると共に、小学生のためにも祈って支えて下さる様にお願い致します。

牧会のかたわら、諸先生方と共に



いつでも弁明の できる用意を

沖縄信徒聖書学校校長
安里 嗣 昌

十数年、沖縄信徒聖書学校、沖縄聖書神学校でのお交わりを与えられ、超教派の働きの中で、数々の恵みをかぞえることができることを神様に感謝して居ります。

神様は、それぞれの教派に、ふさわしい賜物を与えてお下さいます。それぞれの教派が、その個性とも言うべき神様からの賜物を生かして、共同の働きをする。それぞれ個性が尊重されて、一つの主のみわざがすすめられていく。それは一教派だけではとても経験し得ない恵みであります。

私共が、教派を越えてこの働きをすすめる理由は、見出しの聖句にもありますように、第一には、共に主をあがめるためであり、次に、私共に与えられている望み(信仰、救い)について、いつでも弁明することができるようになること、更に、使徒パウロが、エペソ人のために祈った祈り、「あなたがたが神に召されていだいて望みがどんなものであるか、聖徒たちがつぐべき神の国が



いかに栄光に富んだものであるか、また神の力強い活動によって働く力が、わたしたち信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、あなたがたが知るに至るように「エペソ人：18、19」が、協力教会及び諸先生方の祈りでもあるからです。沖縄にプロテスタントの宣教が始まって今年で一四〇年目、もう二代目、三代目のクリスチャンが生まれる時代です。私共は信仰を正しく受けとめ、次の世代が正しく継承していくための責任を主からゆだねられて居ります。そのためにも一人ひとりがしっかり聖書を学ばなければなりません。

沖縄信徒聖書学校や沖縄聖書神学校が、その必要のため、多くの兄弟姉妹に用いられるようにと願って居ります。

去年三人の卒業生を送り出した沖縄聖書神学校も、今年四月二人の神学生を迎え、第三回目の入学式が挙行されました。誠に喜ばしいかぎりです。聖書学校の二年間の学び、神学校の四年間の学びが全うされます様に、これからも、皆様方のお祈りとご協力を心からお願ひ申し上げます。



1986年度 神学校入学式

神学校だより

沖縄聖書神学校の開校は一九七八年四月に第一回入学式、一九八一年、第二回一九八六年と八年の間に三回の入学式を迎えたことになりました。卒業生の方は一九八五年三月に一回生三名を前戦に送り出してあります。在校生も今年とは与えられて教授陣も、新入生もはりきって学んでおります。今年の入学者は、星の子学園教会藤村幸貴兄、宜野湾バプテスト教会、末吉重昭兄の二人です。両兄は既に教会の責任を持たれ、牧会、伝道と使命に燃えつつ、更に新たな力を得ようと頑張っておられます。今一つ残念な事に長年ギリシヤ語を担当して下さいました桃原俊幸先生が十一月をもって東京の方へ転任されることです。

新理事紹介

一九八五年十一月の神学校聖書学校の定期総会において次年度(八六年から向う二年間)の理事長及び理事を選出致しました。理事は夫々、神学校、聖書学校のいずれかを担当することになっています。

理事長 斉藤清次郎
理事 渡真利文三師(神学校校長)
理事 連天康正師(神学校専任教授)
理事 喜友名朝英(神学校財務)
理事 古堅宗伸(神学校事務局)
副理事長 国吉 守

理事 当銘由正師(聖書学校学生部長)
理事 安里嗣昌師(聖書学校校長)
理事 松田善弘師(聖書学校財務)
理事 新垣栄市師(聖書学校事務局)
理事 折田政博師(聖書学校研究科科長)

信徒聖書学校研究科

後期(十月・三月)受講生募集

▼科目と担当
旧約研究(歴史書) 喜友名朝英師
組織神学(人間論) 古堅宗伸師
▼講義時間 毎木・午後七時半より
▼受講資格 信徒聖書学校卒業生
▼受講料 一科目一五〇〇〇円
▼申し込み
聖書学校事務局 新垣栄市
電話(〇九八九) 七一九八八

第十三回定期総会

来る十一月十七日(月)午後七時半より沖縄信徒聖書学校、沖縄聖書神学校の第十三回定期総会を沖縄福音館会館において行います。

議題①一九八五年度学事報告、②一九八五年度決算報告、③一九八七年度学事計画、④一九八七年度予算案審議

協力教会は教職及び信徒代議員を各一名選出し、事務局へご連絡下さい。

一九八七年
沖縄信徒聖書学校生徒募集
△募集人員 二〇人
△入学資格 新生の明確な自覚をもち、受洗後一年以上上忠実な教会生活を送っている者。
△修業年限 二年(毎週火曜日、金曜日午後七時三〇分～九時)
△願書〆切 二月二十八日
△入学試験 三月九日午後七時
科目 聖書・一般常識・小論文及び面接
将来信徒伝道者として、キリストと教会に仕えたいと願う者は、ぜひ本校に入学して下さい。

一九八七年度 沖縄聖書神学校生徒募集

1. 受験資格
大学卒または同等の学力を有するもの
2. 願書〆切 三月十日
3. 試験日 三月二十三日
二四日
午前九時～十時
4. 申し込み
那覇市首里山川一の一七
電話 八四一四三九一

編集後記

▼はや九月、刈り入れの秋となり、皆様にはいよいよ伝道に励みのことでしょう。

▼さて、一九八六年度は、聖書学校、神学校とも希望に胸ふくらませてスタートいたしました。特に昨年神学校の開店休業でしたので、今年は二名の学生が与えられ学生教授とも喜びの春を迎えました。

▼その喜びをホットなうちにニュースとしてお届けしようとする局は語り合い意気込んでいましたが、諸般の事情で遅れてしまいました。総会も間近に迫り、その報告とともにお知らせいたします。

▼なお次号は一月中にお手元にお届けしたいと願っています。

二年間の学びを終えて

生 盛 幸 子

うらかな春の日和に恵まれて来賓の方々の御臨席のもと、私たち十四人のためにこのような立派な卒業式を挙げて戴き、まことに有難く、心から厚く御礼を申し上げます。

私たちは大きな恵みにより、この信徒聖書学校に入学を許され二年間の学びを無事に全うして、今日こうして晴れの卒業式を迎えることが出来ました事を心から神様に感謝を申し上げます。又今日まで私たちに教え導いて下さいました諸先生方にも心から感謝を申し上げます。

さて信徒聖書学校は日本のどこにも類のない、沖縄だけしかない超教派の学校でございますので、いろいろな教派の教会の牧師先生方から親しく特色ある講義を受けることが出来るのも信徒聖書学校ならではの大きな恵みでございます。

旧約聖書、新約聖書を始めとして私たちが信仰者の依って立つ所のキリスト教教理の学び、説教実演を織り込んだ説教、それから伝道学の学び、教会の歴史をひもとく事によって、迫害の中でお守り通されて現代の私たちにまで伝えられたイエ

ス様の福音の尊さを深く学んだ教会史の学び、キリスト教倫理やキリスト教教育の学び、二年の最後の弁証学や比較宗教学の学びなど、最後の二年間の学びは一つ一つが印象深く心に刻まれて、生涯忘れることの出来な

いすばらしい学びでございました。又信徒聖書学校には他にはない特別な恵みがございます。普段はなかなかお会いすることが出来ないお忙しい先生方と親しくお交わりをさせて戴き、先生方の御人格を通して私たちは多くの事を学ばせて戴きました。ここであらためて先生方に心から感謝を申し上げます。

本当に有難うございました。過ぎました二年間を振り返って見ます時に、先生方の懇切丁寧な御指導に引き替え私たちは力不足であったり、不熱心であったり、時には病

気や仕事又はいろいろな事情で折角の大事な授業を欠席したりして先生方の御労にしっかりとお答え出来なかつた事をまことに申し訳げなく、心からお詫びを申し上げます。

しかし、私たちは今日まで諸先生

方が教えて下さった一つ一つの事をこれから遣わされるそれぞれの場において専く生かして用いて御恩にお報い申し上げたいと存じます。

『全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。』

主イエスは彼らに語り終ってから、天にあげられ、神の右にすわられた。弟子たちは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもつて、その確かなことをお示しになった。マルコによる福音書一六章一五、一九、二〇節とございます。

私たちは第一期卒業生十四名の者は今日こうして卒業を許され、この学び舎を巣立って参りますがこれから常にみ言葉に聞き、神様の御栄光を現わす為に生涯をお献げして、それぞれの教会で、社会で、職場で、家庭で神様の僕として愛の奉仕をなし、福音宣教のわざに用いられて参りたいと存じます。

どうぞこれから御も諸先生方、諸先輩方、皆様方の御指導と背後のお祈りを切にお願い申し上げます。

最後に沖縄信徒聖書学校がますます神様に用いられ発展されること、教鞭をお取り下さる牧師先生方と

その御家族、牧される御教会の上に神様の限りない御祝福と御恵みが豊かにありますように、心からお祈り申し上げます。



第11回 沖縄信徒聖書学校卒業式

働き人を支えるために、皆さまからの熱い祈りをお願いいたします。

- △ 信徒聖書学校 財務 松田善弘
振替番号
- △ 聖書神学校 財務 喜友名朝英
振替番号

信徒聖書学校卒業生紹介

一九八五年度

去る三月三日(日)午後三時より沖縄信徒聖書学校第十一回卒業式が沖縄福音会館で挙行政されました。次の一四名の兄弟が二年間の学びを終えめでたく卒業され、出席者から祝福されました。今後教会での活躍が期待されます。

- 安里克也(天久神の教会)
- 伊是名雅弥(那覇バプテスト教会)
- 伊良波美佐子()
- 金城あけみ(那覇ナザレン教会)
- 呉屋 敏(城間ナザレン教会)
- 座波尚代(那覇バプテスト教会)
- 末吉重昭(宜野湾バプテスト教会)
- 生盛幸子(那覇バプテスト教会)
- 平良初子()
- 玉城 宏(礼那バプテスト教会)
- 當真嗣博(那覇バプテスト教会)
- 比嘉康子()
- 宮城京子()
- 森根恒景(胡屋バプテスト教会)

信徒聖書学校新入生紹介

一九八六年度

四月一日(火)午後七時半より聖書学校の入学式が挙行政され、次の一六名の兄弟が安里嗣昌校長より入学が認められました。

大城弓子(城間ナザレン教会)



1986年度 沖縄信徒聖書学校入学式

主の御手に導かれて

新入生 花 城 美根子

目を閉じて深く神の造られた時の中で漂う……導かれ、生かされている事の喜びを感じます。

一つの魂を大切にし、何よりもかえがたく救いに導いて下さる神様の愛弱い者の私にさえも手を伸ばして下さいました。確かなものを求めてあ

ちこちの教会へ通った事も、幼い頃叔母に連れられ教会へ導かれた事も全てが神の御計画の中で備えられていたのです。唯感謝が溢れます。

私は今、幼ない子供達を預かって教師として働いています。子供と共に歩む教師としての道が、信仰者として尚一層重要な事として見えて来

ました。私自身も幼い頃に御言葉が与えられ、その小さな芽が信仰者として立つ結果になり得た事を実感として受けとめ、幼い時の伝道の重要さが強く思われるのです。

今、もっと御言葉を学びたい、自分をもっと深めたい、心から人の悲しみ、痛みを受けとめられる者、主イエスの愛を伝えていける者となりたいのです。主イエス様が御自分を低くされた私達の心にまで届いて下さった愛を、その歩みに少しでも近づき手を伸ばしてゆきたい、何を怖がり、何を恐れているのでしょうか、

いいえ何一つ怖いものはありません。

神の御手の中で深く息をして歩けばいいのです。ゆくりと微笑んでまっすぐに委ねて歩めばいいのです。そして信仰者として、この安らぎをこの喜びを愛する一人一人に伝えたい、私の目の前にいる小さな子供達にも、神様の愛を届けたい。「あなたの宝のある所にあなたの心もあるか」とある通り、私の宝を何にもかえがたい確かな主イエスの愛のもとに貯えたいと強く思うこの頃です。神様は私がこの世に生を受ける前から私の歩みを一つ一つ御計画の中に折り込んで下さり、強く確かな御手で導いて下さったのです。私は今

後、先に救われた者として、どの様な苦難にも負ける事なく、聖書の学びを通して、私の愛する人々へ、本當の救いを伝えていく使命を深く心に感じております。天使の様な輝く瞳をもつ幼き魂に愛を伝え、子供達がやがて成長した時の良き肥となり大きな主の愛の花を咲かせる事を見つつ教師としての自覚を持って頑張りたいと思います。これは主イエスの愛を知った教師として、神様が与えて下さった道だと信じます。私が歩む一つ一つの道がいつも主と共にありますように

アーメン

(星の子学園福音教会会員)